

20059

他職種業務を経験して

【はじめに】当院は、医師・看護師・臨床工学技士・放射線技師で心臓カテーテル検査・治療を施行しており、それぞれの職種でおおまかではあるが業務が分担されており、主に看護師は記録・外回りが中心であった。しかし、チーム医療の一員として、職種間の協力・理解を深め、看護に活かしたいと思い、他職種の業務を経験してみた。そこで学んだことを報告する。【施行した主な内容】・機械(デバイス)出し・IVUS操作・セカンド業務【結果】主にMEや放射線技師の業務であった機械出しを施行してみて、どのようなデバイスか、次に用意したら良いものは何かなど考えるようになった。そしてデバイスを理解することによって、流れが理解出来るようになり、記録も書けるようになった。IVUS操作に関しては、自分自身がやることによって、以前と比べると病変部の状況など考えるようになり、興味が持てるようになった。また、セカンド業務に関しては、普段医師がどのようなことをしているのか知ることができ、検査・治療の流れに応じて、必要なものの準備や注意点を予測しそれに対し備えるようになった。【考察】他職種を経験したことによって、互いの職種の業務を補うだけでなく、普段意識していなかったところまで考え、理解するようになり、より良い看護に繋がるのではないかと感じる。【結語】より良い看護を提供するために、今後も職種間の理解・協力を深め、チーム医療の一員として貢献できるようにしていきたい。